



注意

品種を問わず生育が早まっています。また、6月第6半旬(6/27)以降、**高温・多湿**の気象が続いていることから、コシヒカリの**草丈伸長が大きく、稲体消耗で葉色が低下しています**。ほ場ごとに生育診断 = 穂肥時期の「**草丈×葉色**」を確認してから、登熟期間の栄養が不足しないよう**じっくり穂肥施用(適期・適量)**しましょう!!

1. コシヒカリの生育状況 (7月10日現在)

速報!

地区	田植日	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉数(葉)	葉色
寺泊	5/7	75.5	542	11.3	37.2
和島	5/11	73.7	430	11.5	37.5
出雲崎	5/5	76.2	435	10.8	34.6
与板	5/13	75.7	460	11.3	38.3
三島	5/10	72.7	393	11.3	34.6
越路	5/12	73.7	492	11.1	34.6
平均	5/10	74.4	462	11.2	36.0
7/10 指標値	5/10	66.0	450	11.0	36.0

草丈の伸長が大きくなっています!!

指標値比(差) 草丈:113%、茎数:103%、葉数:+0.2、葉色:±0.0

- ①【生育】コシヒカリの出穂期は8月1日ころ(平年より2日程度早い)となる見込みで1回目(出穂18日前)の穂肥時期は、7月14~17日ころとなりそうです。
- ②【穂肥】生育診断の結果、草丈が75cmを超えている場合、1回目穂肥の施用は遅め・控えめ(出穂15日前に基準量の半分程度)とします。2回目穂肥(出穂10日前)は、**基準量(N成分:1~1.5kg)をしっかりと確実に施肥します!!**
- ③【病害虫対策】管内全域で地域・品種を問わず「**葉いもち**」が発生しています。発病を確認したら、直ちに薬剤防除を実施してください。(裏面参照)

今がコシヒカリ生育診断の旬(適期)です!!

水稻の「生育診断」はJAにお任せください!!

皆さまからのご要望で現地ほ場に出向き、水稻の幼穂長や草丈・茎数・葉色等の生育を診断し、穂肥施用と栽培管理を個別に指導します。ぜひ、ご活用下さい!!

「生育診断チーム」設置・活動期間:7月上旬~7月下旬まで

~ 詳細につきましては、お気軽に最寄りの営農センターへお問い合わせください!! ~

JAえちご中越	さんとう北営農センター	☎0258(74)3434
さんとう営農センター 農政企画課	さんとう営農センター 営農課	☎0258(42)4133
☎0258(41)2887	こしじ営農センター	☎0258(92)5606

裏面もご覧ください!!

2. 病害虫対策

⇒ ほ場をこまめに巡回して「発生状況」を確認してください!!



- ①【いもち病】6月中旬からいもち病に感染しやすい気象条件が断続的に発現し、管内全域で「葉いもち」が発生しています!!
- ②【紋枯病】今後の気象条件により、発生しやすい品種や前年に多発生したほ場では、病状・被害が進展しやすくなります。

➡ 発病を確認したら、直ちに薬剤防除を実施しましょう!

いもち病



対象病害	薬剤名	使用量・希釈倍数	摘要
いもち病	カスミン液剤	1,000倍	※穂揃い期まで
	ゴウケツ粒剤(3kg)【*】	3kg~4kg/10a	※出穂5日前まで
	ブラシンフロアブル・粉剤【*】	1,000倍(707g) 3~4kg/10a(粉剤)	※収穫7日前まで ごま葉枯病等
紋枯病	バリダシン液剤・粉剤	1,000倍(液剤) 3~4kg/10a(粉剤)	※収穫14日前まで
	リンバー粒剤【*】	3~4kg/10a	※収穫30日前まで

【*】のついている薬剤は、特別栽培米に使用できません!! ご注意ください。



- ③【カメムシ】高温が続き“発生密度”が高まっています!!
- ➡ 水田内(ノビエ・ホタルイ)、農道畦畔・雑草地(イネ科雑草)の雑草管理を徹底し、共同防除までに畦畔雑草が発生する場合には、今一度、草刈りや除草剤散布を徹底しましょう!!

「一斉草刈りウィーク 7月8日~7月15日」
斑点米カメムシ被害撲滅運動 実施中!

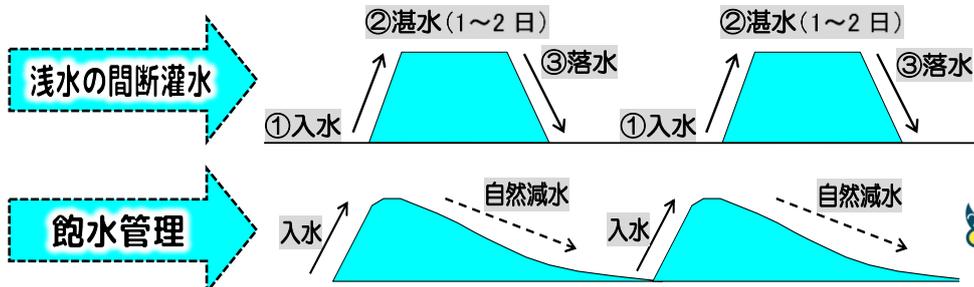


3. 今後の水管理

登熟促進~品質向上には“水管理”が重要です!!

降雨の多い気象傾向が続き、地耐力が確保できていない軟弱なほ場が多くなっています。今後もしばらくは不安定な気象が続く予報ですが…

➡ 水稻が最も水分を必要とする「幼穂形成期~出穂期」を迎えています。コンバイン収穫に支障のない地耐力を確保しながら、飽水管理の徹底に努めましょう!!



「SDGsな水管理」
水は地域全体の貴重な資源です!!
→ かけ流しに注意してください。

